

本がいっぱい！



Teen's 2026

『ぼくの中にある光』 《Fベ》

カチャ・ペーレン／作 原田勝／訳 岩波書店

海辺の近くにお父さんと二人で暮らすゾフィア。父親と別れ、母親とやっと小さなアパートで安心して暮らせると思っていたトム。どちらも今の生活を変えたくない、そう思っていたのに赤ちゃんができたことで、急に一緒に住むことになり…。

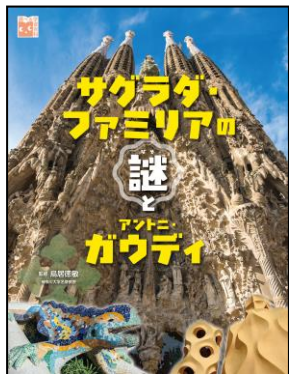


『サグラダ・ファミリアの謎と

アントニ・ガウディ』 《52》

鳥居徳敏／監修 岩崎書店

「未完の聖堂」と呼ばれる世界遺産のサグラダ・ファミリアは、着工してから 140 年以上たった今もなお、建設が進められている。なぜ工事が終わらないのか。設計者のアントニ・ガウディはどんな人なのか。その謎にせまる！



TOKOROZAWA CITY LIBRARY
所沢市立所沢図書館



『モノクロの街の夜明けに』 《Y Fセ》

ルータ・セペティス／作 野沢佳織／訳 岩波書店

1989年、ルーマニアの人々は独裁政治に苦しめられていた。そんな中、ぼくは脅されて密告者になった。ぼくの言動も盗聴・監視されている。密告しているのは、友達？恋人？それとも家族？国全体が恐怖と疑念に包まれていた。この異常な状況を国外に伝えようとぼくは決心し…。人々への取材を基に書き上げた衝撃の物語。

『地球変動の犯人を追って、

科学者、海にもぐる!』 《Y 45》

佐野貴司／著 河出書房新社

海に沈んだ幻の大陸はどこにある？海底噴火はなぜ起きる？巨大噴火が恐竜繁栄をもたらした？地球にはまだまだ謎がいっぱい！地球を縦横無尽にめぐる火山学者が、地球変動のメカニズムをひも解いていく。



『探検家』 《Fラ》

キャサリン・ランデル／著 越智典子／訳
ゴ布林書房

飛行機が墜落し、危険だらけのアマゾンのジャングルに取り残された4人の子どもたち。生きのびるため、食料や寝るところを探していると、ある時は川の中に、ある時は樹の上に、彼らよりも前に誰かがここにいた気配がして…。

『宇宙の24時間』 《53》

ロブ・ロイド・ジョーンズ／作

ローラン・キリング／絵 竹内薫／訳・監修

小学館

地球から遠くはなれた宇宙には、国際宇宙ステーションがうかんでいます。国際宇宙ステーションの設備や、トイレの仕方、宇宙服や宇宙遊泳など、ナゾに満ちた「宇宙の一日」を宇宙飛行士とともにのぞいてみましょう！



『トムは真夜中の庭で』 《Fピ》

フィリパ・ピアス／作 高杉一郎／訳 岩波書店

楽しいはずの夏休み。ところが、トムは退屈なおじさんの家にあずけられてしまった。そこは、庭のないアパート。しかし、ある夜、玄関の大時計が、あるはずのない十三時の鐘をうったので、トムは寝室をぬけだした。ドアをひらくと、そこには美しい庭園がひろがっていて…。

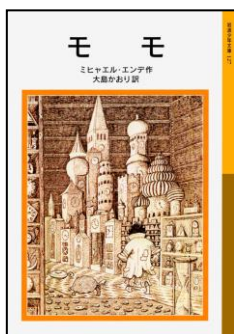


『モモ』 《Fエ》

ミヒヤエル・エンデ／作 大島かおり／訳

岩波書店

人間の時間を盗んで生きる灰色の男たち。人々は時間の貯蓄と儉約に懸命になり、おこりっぽくなる。モモは盗まれた時間をとりかえそうとするのだが…。



『船乗りクプクプの冒険』 《Y Fキ》

北杜夫／著 集英社文庫

タローは『船乗りクプクプ』という本を開いた。ベラボーに安かったので、中もみずに買った本だ。読み始めると、なんてことだ！白紙だらけだ。タローは怒って本をとじた。と、その時ふしぎなことが起こって…。



『カーテンコールはきみと』

演劇ははじめました!』 《Fコ》

神戸遥真／作 井田千秋／絵 偕成社

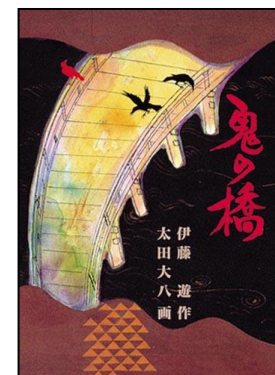
地域のおまつりで観た演劇部の舞台にあこがれ、おっちょこちょいでパツとしない自分でも、舞台上なら変われるかもしれないと思い、演劇部に入ると決めていた律希。ところが、演劇部は廃部寸前！律希は、入部希望の夏帆と一緒に演劇部復活に向けて動き出す。



『鬼の橋』 《Y Fイ》

伊藤遊／作 太田大八／画 福音館書店

貴族の少年・^{たかすけ} 篁は、妹の死が自分のせいだと責めていた。妹が亡くなった井戸をのぞきこんだ篁は、いつのまにかあの世との境の河原へきてしまった。すると恐しい鬼が2匹、篁を食おうとあらわれた。そこへ助けにきたのは、3年前に亡くなったはずの征夷大將軍・坂上田村麻呂だった。



『歴史的に考えること』 《Y 21》

宇田川幸大／著 岩波書店

私たちが生きている世の中には、戦争、貧困などたくさん問題があります。しかし、過去にさかのぼってものごとの原因や経緯を点検してゆくと、私たちの前にある主張や情報が、必ずしも正しいものとはいいい切れません。本書で、様々な歴史を点検しながら「歴史的に考えること」にふれてみましょう。

